

# 新潟県三条市

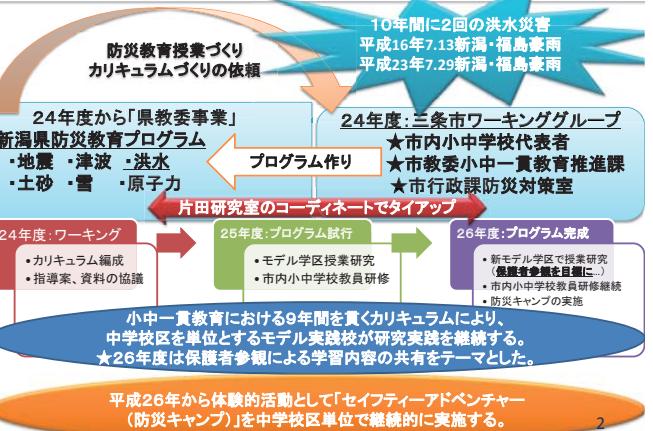


## 防災教育の取組

地域を愛する「姿勢の防災教育」



## 三条市教育委員会の防災教育推進体制



## 平成26年度【防災キャンプ】の概要

### 実施目的

児童・生徒が、学校教育外の環境(放課後、学校休業日)において、被災した場合に、自らの危険を回避できるよう、必要な技術や知識を学習させ、「生き抜く力と姿勢」を育む。

### 実施時期・地区・会場

平成26年8月7日～8日実施地区 第四中学校区  
第四中学校区  
実施会場 第四中学校（体育館、その他特別教室）  
水防学習館 等

### 対象児童・生徒（小中一貫教育中期学年）

☆第四中学校区の小学5年生、6年生及び中学1年生  
小学5、6年生 約30名  
中学1年生 約20名 計50名  
☆保護者、地域の方々、教員、指導主事 計50名 合計100名

### 【防災キャンプ取組事業内容】

#### 体験 防災時の生活を体験する

- ・避難所共同生活体験（体育館に宿泊し、分担して清掃及び配膳等の避難所生活を体験）
- ・非常食試食体験（アルファード等備蓄食料を試食）



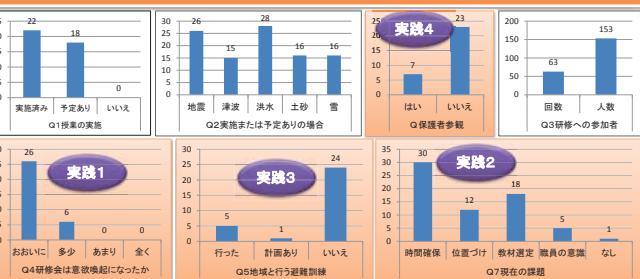
#### 知識の習得 自分たちのまちを知る

- ・地域の危険箇所探索（地区自治会と合同で実施）
- ・地域安全マップの作成及び発表・水辺を知る。
- ・水防学習館を利用した過去の水害に関する研修
- ・群馬大学片田研究室（金井准教授）による防災講話（テーマ「自分たちにできる防災・減災」）

#### 技術の習得 災害時に役立つ技術を学ぶ

- ・救急救命に関する技術講習・水防学習館体験
- ・サバイバルフード調理体験

## 防災教育授業に関する実態調査結果(研修会参加者対象・直後回答)※数値は実入数



### その他の課題

・小中合同で行うために日時を合わせること、運営会議時間の調整、出向しない人の意識が大切、防災教育を自分ごとに捉え「とにかくやることが大切なんだ」という人が多過ぎない歩き方前に進みません。授業例、DVD、ワークシートがあると取り組みやすい。

### 今後の研修に望むこと

・講演会での防災教育が生徒指導や学力向上へと結びついた学校の例がありました。そのような実践例をくわしく学びたい、「洗水以外のもの」、今年度同様、授業科目や研究会の講師がほしいと思います。他の実践研究をしている方の話を聞いてみたいと思います。・生徒災害や震害など経験の少ない卒業生の研修、講演会などで専門家の話を他の地域の教員が聞きたい・避難訓練と防災教育をどのように組み合わせて実践していくべきか、・土砂災害に関する防災教育について研修してみたい・群馬大学の先生の話がとてもよかったです。またお話をしたい・地震について、・各校での非常訓練の実際、自校化に向けた計画づくりの留意点・教育課程上の位置づけなど他の校の取組を知りたい・授業研究センターでよい「いかに命を守るか」ということに重点を置いた研修がよい・防災教育プログラムを確実に実施している各校の取組、先進的な実践の紹介・地震、洪水時の命の守り方。

3